



平成 26 年 7 月 11 日
ストラスブール研究連絡センター

フランス高等教育研究省(MESR)

●「オスカー・ランブレ・センターに SMMIL-E プロジェクトを導入」

2014 年 6 月 16 日、CNRS(フランス国立科学研究センター)、東京大学、リール第 1 大学、オスカー・ランブレ・センターは、東京大学の新プラットフォーム(SMMIL-E)を、リール大学病院拠点にあるオスカー・ランブレ・センターに設置する提携協定に署名した。本プラットフォームの導入により、ノール=パ・ド・カレー地域と ONCOLille がん総合研究拠点、エレクトロニクス・マイクロエレクトロニクス・ナノテクノロジー研究所と提携して、CNRS と東京大学知能情報システム研究室の UMI(国際混成研究ユニット)LIMMS(統合マイクロメカトロニクスシステム研究所)による Bio-MEMS 型のマイクロテクノロジーの開発が期待される。

・フランス高等教育研究省“Implantation du projet SMMIL-E au Centre Oscar Lambret”(2014 年 6 月 16 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80416/implantation-du-projet-smmil-e-au-centre-oscar-lambret.html>

●「第 1 回“PEPITE-学生起業家推進”賞」

2014 年 6 月 20 日、20-26 歳の学生または卒業生による 10 件の起業プロジェクトが、第 1 回「PEPITE-学生起業家推進」賞に選ばれた。ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣とジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣の立会いの下、フランソワ・オランド大統領はエリゼ宮に受賞者達を招待した。本プロジェクトは、学生や若い卒業生の起業活動を推進するために取り組んでいるもので、受賞者は以下のとおり。

- ・Lucien BESSE (24 歳、パリ政治学院学生、Shippeo プロジェクト)
- ・Thibaut CHARY (23 歳、鉦山学校学生、YesPark プロジェクト)
- ・Lucie d'ALGUERRE (20 歳、ロレーヌ大学 ESSTIN 学生、Handisco プロジェクト)
- ・Hugo de GENTILE (25 歳、リモージュ大学卒、Prodontis プロジェクト)
- ・Damien DOUS (24 歳、アレス鉦山学校卒、Snapkin プロジェクト)
- ・Gilles HUMEZ (23 歳、ストラスブール Sup'info 学生、ContAACt プロジェクト)
- ・Bastien PAQUEREAU (24 歳、ポワティエ大学 IUT 卒、Rhinov プロジェクト)
- ・Jules RIVET (24 歳、ボルドー大学 IAE 卒、La Recharge プロジェクト)
- ・Adrien SAIX (26 歳、コンピエーニュ工科大学卒)
- ・Jérémy WIES (24 歳、ストラスブール Sup'info 卒)

・フランス高等教育研究省 “Première édition des prix PEPITE - Tremplin Entrepreneuriat Etudiant”
(2014年6月20日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80567/premiere-edition-des-prix-pepите-tremplin-entrepreneuriat-etudiant.html>

●「修士課程入学時のいかなる選抜も拒否する」

ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣とジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、全ての学生は、修士課程へ進学する権利をもっているとして、修士課程入学時の選抜を拒否すること、及び、高等教育の民主化への思い入れを再確認した。

フランスでは、240万人の大学生のうち、修士課程の学生は29万人、うち修士1年が15万人、修士2年が14万人である。過去10年間で、修士1年から修士2年への進級率は大幅に改善されたものの、特定の分野では依然として進級率が低いことが問題とされている。両大臣は、学生・教員・有識者らとの対話を通して、この問題への対応を続けている。

・フランス高等教育研究省“

Refus de toute sélection à l'entrée en master” (2014年6月25日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80754/refus-de-toute-selection-a-l-entree-en-master.html>

●「イノベーション戦略評価委員会の設置」

2014年6月27日、ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣、アルノー・モンブール経済・生産再建・デジタル大臣、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、OECDの「フランスの研究・イノベーションシステム」に関する分析報告書を受け取った。その報告書では、教育の質がフランスの強みとして挙げられ、また、いくつかの改善点が指摘されている。改善点の内、大臣らが特に注目したものは以下の通り。

- ・大学教育およびグランゼコールの支援
- ・公的研究と企業間の移転強化
- ・研究重点テーマの決定の迅速化
- ・民間研究開発への公的支援の効率とわかりやすさの改善
- ・起業家の促進、特に若い大学卒業生起業家の促進
- ・フランスにおける不十分なベンチャーキャピタル部門の補完
- ・イノベーション政策における適切なガバナンスの確立

これらの分析結果と「イノベーションのための新情勢」計画の一環として、3大臣は、イノベーション政策評価委員会を設置した。本委員会は、経済的影響について評価政策を多面的に評価すること、グローバル性の分析と一貫性と構成の吟味、公的政策の効率を高めるための提案作成、イノベーション政策に関して地域レベルおよび国際レベルで優れた実践を紹介すること、を使命とする。

委員会は 20 名の専門家による委員で構成される。

・フランス高等教育研究省“

Installation de la Commission d'évaluation des politiques d'innovation” (2014 年 6 月 27 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80855/installation-de-la-commission-d-evaluation-des-politiques-d-innovation.html>

●「第 2 期奨学金改革、2014 年秋に」

2014 年 6 月 30 日、ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、2013 年に開始した奨学金改革を 2014 年期も継続することを確認した。それにより、2014 年期から、低収入家庭の学生への年 1000 ユーロの奨学金が新規に 7 万 7500 件、また、親からの経済援助を受けない自立経済学生への年 4000-5500 ユーロの手当て 1000 件が創設される。(2013 年開始分と合計すると、年 1000 ユーロの奨学金が 13 万 2500 件、年 4000-5500 ユーロの手当てが 2000 件となる。)

フランスでは、2012 年以降、奨学金のために 4 億 5000 万ユーロ以上を支出しており、高等教育へのアクセスの民主化に力を注いでいる。

・フランス高等教育研究省“2e étape de la réforme des bourses étudiantes à la rentrée 2014” (2014 年 6 月 30 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80946/2e-etape-de-la-reforme-des-bourses-etudiantes-a-la-rentree-2014.html>

フランス高等教育研究省(MESR)・フランス高等科学研究所(IHÉS)

●「Maxim Kontsevitch 氏、2014 年 Breakthrough 数学賞を受賞」

ロシア系フランス人数学者で IHÉS 教授の Maxim Kontsevich 氏が、2014 年 Breakthrough 数学賞を受賞した。氏は、2012 年に同基礎物理学賞を受賞しており、同賞を 2 分野で受賞した初めてのフランス人数学者となる。また、氏はこれまでに、Henri Poincaré 賞、フィールズ賞、Crafoord 賞、Shaw 賞など、多数の受賞歴をもつ。

・フランス高等教育研究省“Le mathématicien Maxim Kontsevitch à nouveau lauréat du Prix "Breakthrough"” (2014 年 6 月 26 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid80796/le-mathematicien-maxim-kontsevitch-a-nouveau-laureat-du-prix-breakthrough.html>

・IHÉS“Un nouveau prix pour Maxim Kontsevitch !” (2014 年 6 月)

http://www.ihes.fr/jsp/site/Portal.jsp?document_id=3540&portlet_id=1122

フランス国立科学研究センター(CNRS)

●「欧州巡回検出器 AGATA が Ganil に到着」

ガンマ線検出器 AGATA が、国立重イオン加速器センター(Ganil、CNRS/CEA)に到着した。AGATA は、イタリアとドイツ巡回の後、原子核構造研究プログラムの測定のため、最低 2 年間フランスに設置される。AGATA は、従来の検出器よりも高性能で、光子軌道の再現ができる。2015 年より、欧州各地から数十組の物理研究グループが Ganil を訪れて研究を行うことが見込まれる。

AGATA 共同研究は、2003 年に開始され、欧州 12 カ国から約 40 の研究機関が参加している。

・CNRS “AGATA, le détecteur européen itinérant, arrive au Ganil”(2014 年 6 月 6 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3593.htm>

●「CristalÔ: 結晶学に親しむ一般公開イベント」

CNRS とパリ工芸博物館-国立工芸院(Cnam)は、フランス国際結晶年委員会と共同で、2014 年 7 月 6 日、結晶学の世界について、子供から大人までが楽しく学べる公開無料イベントを企画する。結晶学は、一般にはあまり知られていないが、この分野から 23 件のノーベル賞を輩出している。本イベントでは、薬学で用いられている結晶状の宝石や、物質測定に用いられる機器など、日常レベルから先端研究までを幅広く取り上げる。

・CNRS “CristalÔ : journée gratuite et ouverte à tous pour découvrir la cristallographie ”(2014 年 6 月 13 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3617.htm>

フランス国立研究機構(ANR)

●「シンガポール国立研究財団と協定締結」

2014 年 5 月 30 日、ANR とシンガポール国立研究財団(NRF)は、両国間のコラボレーション強化を目的とした協定に署名した。本協定は、フランス・シンガポール共同プロジェクトの公募という形で 2014 年夏から実施され、基礎研究を 3 年間にわたり最高 50 万ユーロ支給して支援することを目的としている。第 1 回のプロジェクト公募では、物質学、ナノテクノロジー、ナノシステム分野が対象となる。

・ANR “ France-Singapour : un accord ANR-NRF pour faciliter le cofinancement de projets de recherche”(2014 年 6 月 26 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/france-singapour-un-accord-anr-nrf-pour-faciliter-le-cofinancement-de-projets-de-recherche/>

フランス国立情報学自動制御研究所 (INRIA)

●「Inria、2014 年数学オリンピック入賞者を表彰する」

Inria パリ-ロカンクールセンターは、ヴェルサイユアカデミー、サクレ-イル・ド・フランスセンターと提携して、数学オリンピック入賞者を表彰した。数学オリンピックコンクールは、科学への関心を促し、資質を喚起することを目的としている。毎年この時期、リセ第4学年(日本の中学2年に相当)、リセ第1学年(日本の高校2年に相当)の最も優れた生徒が、アカデミーとイル・ド・フランス地域の Inria センターに表彰される。第14回の今年は、9000人を超える生徒が応募した。

・INRIA “Inria récompense les Olympiades de mathématiques 2014” (2014年6月11日)

<http://www.inria.fr/centre/paris-rocquencourt/actualites/olympiades-de-mathematiques-2014>

●「FUN グループに国際主任教授職を設置」

Inria は、国際戦略の一環として、外国人研究者を長期に受け入れることを奨励しており、12ヶ月間の国際主任教授職を設置した。今年、Inria リール-北ヨーロッパセンターの Fun (未来のユビキタスネットワーク) 研究グループが、Ivan Stojmenović 博士(カナダ オタワ大学教授)を国際主任教授に迎えた。

・INRIA “Une chaire internationale pour l'équipe Fun” (2014年6月13日)

<http://www.inria.fr/centre/lille/actualites/une-chaire-internationale-pour-l-equipe-fun>